

世界大混乱で始まる史上空前の日本バブル

原田武夫国際戦略情報研究所（IISSIA）代表取締役
原田武夫

*そんなことがあるのか

*順番が回ってくる

*「焼畑農業」をやってきた

*さん然と輝く可能性

*追い詰められるイスラエル

*景気が悪いと戦争を起こす

*やるときはやる外資

*デフォルト前にやるべきこと

*消費税増税の「本当の役割」

*「循環する社会」をつくる



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日の講師は経済倶楽部として初めてお招きする原田武夫さんです。外務省で活躍された後、退官されて原田武夫国際戦略情報研究所（IISSIA）というご自分の研究所をつくられました。ご著書が面白かったものですから『週刊東洋経済』や『経済倶楽部講演録』などで短評を書かせてもらっています。

「IISSIA マンスリーレポート」を出されていて、国際問題あるいは日本の問題のユニークな分析をされています。拝見して勉強になることが多いものですから、今回、お招きしました。今日の演題に沿ったレポートも書いておられますけれども、今日はそれを踏まえて、さらに展開されるだろうと思います。新聞やテレビ

とはまったく違う分析をされますので、今日はじっくり聞いていただきたい。それでは原田さん、よろしく願います。（拍手）

原田 原田でございます。本日はなにとぞよろしく願ひ申し上げます。過分なご紹介を賜り、ありがとうございます。私は外務省に12年ほど奉職していて、元来はドイツ語が専門でした。

先般、西宮中国大使が不幸にして亡くなられました。ほかの役所の総括課長代理が、うちの役所だと首席事務官と言いました、私は彼が首席事務官だったとき採用されました。もともとちょっと小太りで、昨今も以前とまったく同じ体型でしたが、非常に残念なことです。

普通、外務省で偉くなる人は米語出身、要す